

Matisse



マティスと ルオー展

—手紙が明かす二人の秘密—



2017
1 | 14 (土)
↓
3 | 26 (日)

開館時間: 午前10時～午後6時 (ご入館は午後5時30分まで)

休館日: 1月18日、25日 / 2月1日、8日、15日

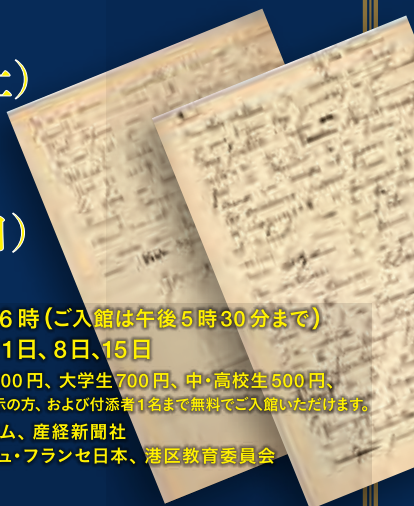
入館料: 一般1,000円、65歳以上900円、大学生700円、中・高校生500円、小学生以下無料 *障がい者手帳をご提示の方、および付添者1名まで無料でご入館いただけます。

主催: パナソニック 汐留ミュージアム、産経新聞社

後援: フランス大使館 / アンスティチュ・フランセ日本、港区教育委員会

特別協力: ジョルジュ・ルオー財団

協力: 日本航空



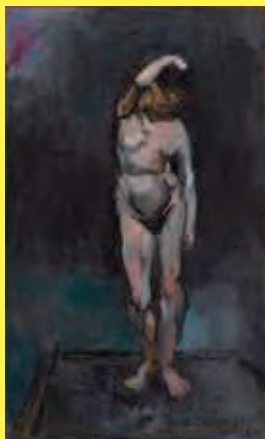
Shiodome Museum
ROUAULT GALLERY

パナソニック
汐留ミュージアム

et Rouault



1



3



4



6



6



2

- 1 マティス《室内：二人の音楽家》
1923年 ポーラ美術館
- 2 ルオー《聖ジャンヌ・ダルク》「古い町外れ」1951年 個人蔵（ジョルジュ・ルオー財団協力）、パリ
- 3 マティス《モデル》
1901年 パリ市立美術館
©Musée d'Art Moderne / Roger-Viollet
- 4 マティス《スヒーダムの瓶のある静物》
1896年 マティス美術館、ル・カトー＝カンブレジ
- 5 マティス《窓辺の女》
1920年 みぞえ画廊
- 6 ルオー《窓辺の静物》
1930年 個人蔵（ジョルジュ・ルオー財団協力）、パリ
- 7 ルオー《曲馬団の娘たち》
1924-25年 泉屋博古館分館

表面下、1、7
©ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2016 E2337
*会期中、一部展示替えがあります。



7

マティスとルオー展

—手紙が明かす二人の秘密—

1906年8月30日、アフリカ旅行から戻った36歳のマティスは、「中でも砂漠はすごかった」と、その強い印象を友人のルオーに書き送ります。国立美術学校で共に学んで以来、この二人の偉大なフランス人画家が交わした膨大な手紙のやりとりは、マティスが亡くなる前年の1953年まで、断続的ながら実に約半世紀に渡って続きました。

全く異なる画風を確立したマティスとルオーは、一方でフランス絵画の輝かしい伝統の継承者としての誇りと責任感を共有していました。それは、外国人を受け入れて輝きを増すフランス、あるいは第二次世界大戦に苦悩するフランス、そのいずれにあっても揺らぐことなく、自らの絵画で回答し続けた姿勢にも表れています。例えば、戦争を機に描かれたマティスによる《ラ・フランス》とルオーによる《聖ジャンヌ・ダルク》は、自由なフランスを象徴する堂々とした女性を描いてその白眉といえるでしょう。

本展では、二人や家族の手紙を紹介しながらその時期の絵画作品を展覧します。マティスの静物画《スヒーダムの瓶のある静物》をはじめとする貴重な初期の作品や、ルオーの重要な版画集『気晴らし』の油彩原画シリーズの全点出品など、フランスからの初来日作品を含む合計約140点を通して、マティスとルオーの友情の秘密に立体的に迫ります。

関連イベント

1 マティスとルオー展 記念講演会「マティスとルオーの手紙の発見」

世紀末のパリで出会い、共に時代を代表する画家となった二人の手紙のやり取りは、その意外な素顔をも明らかにしていきます。この手紙の発見者であり、『往復書簡集』の編者であるマンク氏が語る、彼らの50年とは。



講師：ジャクリーヌ・マンク氏（パリ市立美術館 学芸部長）
日時：1月14日（土）午後2時から午後3時30分（開場は午後1時30分）
会場：当ビル5階ホール 定員：150名（要予約）
*聴講は無料ですが、本展の観覧券と予約が必要です。

●ご予約・お申込方法：

ハローダイヤル 03-5777-8600 へお電話にてお申込みください。
11月1日（火）より受付開始（受付時間：午前8時～午後10時）

- 必要事項：①イベント名 ②参加人数（一度にお申込み頂ける人数は2名まで）③氏名（要全参加希望者）
④住所 ⑤昼間に連絡が取れる電話番号

*簡単なアンケートにご協力いただけます。*受付は先着順、定員になり次第締め切らせていただきます。*お申し込み時にいただいた個人情報は、本イベントでの受講管理の目的のみで使用します。なお、お気づかりした個人情報は、上述の目的での使用に同意いただいたものとさせていただきます。*定員に達しなかった場合、当日受付をする場合があります。*未就学児はご遠慮ください。

2 「ふみの日」プレゼント

会期中の「ふみの日」にあたる1月23日（月）、2月23日（木）、3月23日（木）にご来館の方に、当館オリジナル絵はがきをプレゼントします。大切なご友人に、直筆の郵便などいかがですか？

3 学芸員によるギャラリートーク：予約不要、参加無料（本展の観覧券が必要ですが）

1月22日（日）、28日（土）/2月3日（金）、11日（土・祝）、17日（金）、26日（日）/3月3日（金）、10日（金）、16日（木）、21日（火）
いずれも午後2時～（会場の混雑状況によってはスライドトークに変更になります）

この展覧会は、ジョルジュ・ルオー財団の協力のもと開催されます。Exposition réalisée avec le concours de la Fondation Georges Rouault.

【交通のご案内】

JR「新橋」駅より徒歩約8分、東京メトロ銀座線・都営浅草線・ゆりかもめ「新橋」駅より徒歩約6分、都営大江戸線「汐留」駅より徒歩約5分



Shiodome Museum
ROUAULT GALLERY

パナソニック 汐留ミュージアム

東京都港区東新橋1-5-1 パナソニック東京汐留ビル4階
お問い合わせ NTTハローダイヤル 03-5777-8600
<http://panasonic.co.jp/es/museum>

次回予告：「日本、家の列島 ヨーロッパ巡回帰国展」
2017年4月8日（土）～6月25日（日）